

原稿募集

『大学史研究通信』第29号は2002年3月31日に発行予定です。会員諸氏の現在の研究紹介、文献案内、会員主催の行事のお知らせなど、どのようなものでも結構です。皆様からの投稿を心よりお待ちしております。原稿提出・お問い合わせ等は『通信』編集担当の進藤までお願いいたします。連絡先は最終ページをご覧ください。

住所・所属変更届のお願い

住所や所属（昇任・学位取得も含む）に変更のある会員は『通信』編集担当進藤までご一報くださるようお願いいたします。教授・研究のために海外にご滞在予定のかたも、海外での連絡先をお教えいただけましたら幸いです。ご連絡は最終ページにございます、進藤研究室宛をお願いいたします。

『大学史研究通信』バックナンバー希望者に頒布いたします

『大学史研究通信』第14号～現在発行号まで希望者に頒布いたします。80円×部数＋郵送料（1部の場合90円、2部以上は120円）分の切手を同封の上、編集担当進藤宛までご請求下さい。ご連絡は最終ページをご覧ください。

編集後記

ここにきて、『通信』発行ペースがかなり落ちてしまいました。記事依頼、編集、発行、印刷手配すべて個人でやるには限界があるように感じました。事務局が新体制に移行したのちに、新しい方策を考えたいと思います。（進藤記）

『通信』編集は事務局・進藤修一が担当しております。

連絡先〒562-8558 大阪外国語大学外国語学部 進藤 修一研究室内

TEL/FAX 0727-30-5355 EMAIL sshindo@jnb.odn.ne.jp

（Emailアドレス変更しましたので、ご注意ください）

『大学史研究通信』第29号は、3月31日発行予定です。

大学史研究会事務局

〒192-0003 八王子市丹木町1-236 創価大学教育学部 坂本辰朗研究室内 大学史研究会

TEL 0426-91-4602 FAX 0426-91-9309 EMAIL sakamoto@s.soka.ac.jp

大学史研究会事務局員（五十音順）（2002年3月31日まで）

阿曾 昭 明裕（名古屋大学）
大川 一毅（早稲田大学）
児玉 善仁（帝京大学）
進藤 修一（大阪外国語大学）
橋本 敏市（大学評価・学位授与機構）

飯野 靖夫（日本鯨類研究所）
木戸 裕（国立国会図書館）
坂本 辰朗（創価大学）
塚原 修一（国立教育研究所）

大学史研究通信

第28号、2002年1月31日（木）

大学史研究会

第28号の内容：訃報 横尾壮英先生 ご逝去・会員ニュース・事務局からのお知らせ・
編集後記・大学史研究会事務局員一覧

訃報 横尾壮英先生 ご逝去

本会の創立者のお一人であり、広島大学名誉教授の横尾壮英（よこお・たけひで）先生が、去る2001年12月23日、肺炎で逝去されました。先生は1922年のお生まれで、広島文理科大学哲学科を卒業され、以降、広島大学教授、大学教育研究センター長、国立教育研究所次長、福山市立女子短期大学長などの要職を歴任されました。ヨーロッパ大学史研究の第一人者として、ラシュドールの『大学の起源』（1966-68年）などの翻訳のほか、『中世大学都市への旅』（1985年）、『大学の誕生と変貌』（1999年）などの著作を通じて、つねに日本の大学史研究をリードされてこられました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。なお、詳細は、次号の『大学史研究』に掲載予定です（坂本記）。

会員ニュース

瀧井 一博 会員 (住所変更)

本多 二郎 会員 (住所変更)

事務局からのお知らせ

事務局の交代について

以下の諸点が 2001 年度総会で承認されました。

1. 現事務局のメンバーのうち、阿曾沼、大川、進藤、橋本を除き、交代する。
2. 2002 年 3 月 31 日までに、新たにメンバーを加えた新事務局を立ち上げ、同 4 月 1 日より発足する。この期間は、移行期とする。
3. 新しい事務局は、8 名程度で構成する。
4. 新事務局メンバーの選任は、現事務局の残留メンバーに一任する。また、事務局代表は新メンバーの互選とする。

確認事項

1. 新事務局は、いわゆる「学会化」のための準備委員会ではない。あらゆる可能性を模索することができる。ただし、会の運営に大幅な変更を加える場合は、総会の承認を必要とすることは言うまでもない。
2. 新事務局より任期制を導入する。その任期およびメンバー交代の方法は、おおむね、3 年任期・半数交代が現実的であり望ましいと思われるが、詳細は新事務局に一任する。
3. 新事務局の仕事として、以下の二点を早急に実現する。
 - (1) 『大学史研究』の査読体制を拡充させること。すなわち、事務局および事務局が依頼した査読委員によっておこなわれている現行の査読制を拡充するために、任期制の査読委員をあらかじめ選任すると同時に、その氏名を公表すること。このための具体的な体制づくりについては、次回の総会で審議・承認をおこなうこととするが、次年度は移行期として、できる限り前記の趣旨にしたがった体制で査読をおこなう。

- (2) 今回の広島セミナーにおける国際シンポジウムの記録は、公刊（できれば、英語と日本語の双方で）することが望ましい。これを大学史研究会の事業と、事務局は必要な支援をおこなう。

関連研究会のお知らせ

比較教育社会史研究会発足大会

本会会員でもある、同志社大学教授望田幸男先生が、2002 年 3 月をもって同志社大学をご退職されることとなりました。望田先生は、日本におけるドイツ教育社会史・比較教育社会史の草分け的存在として、この分野の研究をリードされ、これまで必ずしも十分な交流を持たずにきた歴史学と教育史学を架橋する努力を重ねてこられたことは、会員諸氏にも周知のことかと存じます。

そこで先生のご退職を機に、比較教育史に関心のもたれる方々の議論の場を提供するという趣旨の「比較教育社会史研究会」を発足させることといたしました。大学史研究会会員で、教育社会史に関心のあるかたには是非ご参加いただきたく、ここにご案内申し上げます。

研究会 プ ロ グ ラ ム (敬称略)

3 月 23 日 (土) 午後 1 時～5 時半 全体会

記念講演：望田 幸男 (同志社大学)

研究報告：松塚 俊三 (福岡大学)

沢山 美果子 (順正短期大学)

会務報告：橋本 伸也 (京都府立大学)

3 月 23 日 (土) 午後 6 時～8 時 懇親会

3 月 24 日 (日) 午前 9 時半～午後 1 時 分科会

第 1 分科会：身体と医療の教育社会史 (座長：田村 栄子 [佐賀大学])

第 2 分科会：ネーションとエトノスの教育社会史 (座長：橋本 伸也)

第 3 分科会：実業世界の教育社会史 (座長：広田 照幸 [東京大学])

会 場：同志社大学 (京都市上京区)、寧静館会議室・周辺の教室

世話役：安原義仁 (広島大学)・橋本伸也 (京都府立大学)

問い合わせ：進藤 修一までお願いいたします。連絡先は最終ページをご覧ください。

[進藤記]